

A d v a n c e C A D

モデル検索機能追加

Advance CAD software version 19.09、20.02

Advance CAD software version 19.09、20.02

平成25年7月1日

第1版

Copyright © 1986-2013 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
〒141-8522 東京都品川区大崎1-2-2 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー

本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
本書の内容に関しては将来予告無しに変更することがあります。
本書は将来の開発による変更を前提としています。本書は現時点でできる限り正確に記述するよう心がけました。しかし弊社は提供した資料に基づくいかなる損害の責任も負いません。また将来の開発により生ずる変更によるいかなる損害についても責任を負いません。

Sun, Sun Microsystems, Sun Workstation, Solaris, SunOS, OpenWindows, NFS, IPC, IPX は、米国における米国 Sun Microsystems 社の商標または登録商標です。

SPARC は、米国における米国 SPARC International, Inc. の商標です。

UNIX は、米国 X/Open Company Ltd. が独占的な使用許諾を有する米国登録商標です。

MS, MS-DOS, Windows, Windows NT, Windows 2000, Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Visual C++ および Microsoft は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

SolidWorks および SolidWorks のロゴは SolidWorks 社の登録商標です。

FLEXnet Publisher および FLEXlm の著作権は以下のとおりです。

Copyright (c) 2008 Acrecco Software Inc. and/or InstallShield Co. Inc. All Rights Reserved.

libtiff の著作権は以下のとおりです。

Copyright (c) 1988-1996 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1996 Silicon Graphics, Inc.

各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

第 1 章 モデル検索排他制御	1
1.1 モデル検索排他制御のための前準備	2
1.1.1 ACADM.DM.SET の設定	2
1.1.2 xrf_lock のサービスへの登録および起動	2
1.1.3 xrf_lock のサービスからの削除	3
1.1.4 xrf_lock の更新	3
1.1.5 xrf_lock の起動確認	4

目次

1 モデル検索排他制御

● 概要

モデル検索ではモデル検索が使用する管理ファイルへの同時アクセスを回避するため排他制御を行っています。現在は管理ファイルが使用中の場合に FILESTATUSxxx.MDM を作成しこのファイルがある場合は”他のユーザが管理ファイルを使用中です”とメッセージを出力し管理ファイルへの同時アクセスを回避しています。

Advance CAD Ver19.09、20.02 で前述の方法に加えてサーバーで制御プログラムを常時走らせて管理ファイルへの同時アクセスを回避する方法を機能追加しました。

● 動作環境

Windows 版のみ (Microsoft)

Advance CAD Ver19.09

- ・ オペレーティングシステム
Windows XP Professional + Service Pake 2 以上
- ・ 対応機種
上記オペレーティングシステムの日本語版が動作する Pentium または Pentium 互換 CPU 搭載の IBM PC 互換機。(Itanium 搭載機は対象外です)
- ・ 周辺機器
Network Interface Card (Ethernet ボード)

Advance CAD Ver20.02

- ・ オペレーティングシステム
Windows 7 Professional (64 ビット) + Service Pake 1 以上
Windows 7 Professional (32 ビット) + Service Pake 1 以上
- ・ 対応機種
上記オペレーティングシステムの日本語版が動作する Pentium または Pentium 互換 CPU 搭載の IBM PC 互換機。(Itanium 搭載機は対象外です)
- ・ 周辺機器
Network Interface Card (Ethernet ボード)

サーバーとクライアントのバージョン

- ・ サーバーの制御プログラムのバージョンが Ver19.09 または Ver20.02 のいずれであってもクライアントの Advance CAD バージョン Ver19.09、Ver20.02 は動作します。

1.1 モデル検索排他制御のための前準備

モデル検索の排他制御を制御プログラム (**xrf_lock**) で行う場合、制御プログラム (**xrf_lock**) がサーバーで起動されている必要があります。

制御プログラム (**xrf_lock**) の設定方法について説明します。

1.1.1 ACADMDM.SET の設定

ACADMDM.SET に次のキーワードを追加してください。このキーワードがない場合はロックファイル FILESTATUSxxx.MDM での制御になります。

```
#LOCKSERVER# "hostname[:portno]"
```

#LOCKSERVER# 制御プログラムで排他制御を行います。

hostname サーバーのホスト名を指定します。(必須)

portno ポート番号を指定します。(任意)

ポート番号の既定値は 24716 です。

例)

```
#LOCKSERVER#        "SERVER"
#LOCKSERVER#        "SERVER:24716"
```

1.1.2 xrf_lock のサービスへの登録および起動

xrf_lock をサービスへ登録し、サービスを開始します。
サーバーで行ってください。

Administrator で作業をします。

(1) サービスへの登録

コマンドプロンプトを起動して、サービスに xrf_lock を登録します。

exe ディレクトリに移動します。

```
C:¥acad> cd /D C:¥acad¥exe
```

サービスに xrf_lock を登録します。

```
C:¥acad¥exe> xrf_install exe_directory [portno]
```

exe_directory exe ディレクトリを指定します。(必須)

portno ポート番号を指定します。(任意)

ポート番号の既定値は 24716 です。

例)

```
xrf_install C:¥acad¥exe
```

注) ドライブ名はローカルに存在するドライブを指定してください。

`exe_directory` `exe` ディレクトリを指定します。(必須)

更新後はサービス `xrf_lock` は停止していますのでサービスの開始をしてください。
1.1.2 の (2) を参照してください。

1.1.5 `xrf_lock` の起動確認

`xrf_lock` が起動されているかを確認します。
サーバーまたはクライアントのいずれかで行ってください。

(1) `xrf_lock` の起動確認

コマンドプロンプトを起動して、`xrf_stat` で確認します。

```
C:¥acad¥exe> xrf_stat hostname [portno]
```

<code>hostname</code>	サーバーのホスト名を指定します。(必須)
<code>portno</code>	ポート番号を指定します。(任意)
	ポート番号の既定値は 24716 です。

起動されていれば、

○ ホスト名 `xxx` で `xrf_lock` は、起動されています。

起動されていなければ、

× ホスト名 `xxx` で `xrf_lock` は、起動されていません。

とメッセージを出力します。

索引

Symbols

#LOCKSERVER#	2
X	
xrf_install	2
xrf_lock	2
xrf_stat	4
xrf_uninstall	3
xrf_update	3

索引